

ESDと大学2

持続可能な地域社会のために

名古屋市立大学人文社会学部は、2013年度よりESD(Education for Sustainable Development)を教育研究の柱とする学部生まれ変わりました。私たちはESDを「豊かで人間らしい生き方のための持続可能な地域社会と地球社会をつくるための教育」と考えています。昨年度のシンポジウムでは「ESDとは何か？」を学び模索することが中心でした。

本年度はESDを通じて大学が、コミュニティ・地域社会に対して何ができるか、どんな協働関係を構築できるかを主眼に、ESDをさらに深め、具体化させる企画へとさらにグレードアップしました。国内外から実践的に地域社会との関連でESDと格闘している方々をお招きし、その叢智と経験から学ぶとともに、本学部が地域・地球社会から問題を汲み取り、地域とともに体験／対話／協働しながら今後の教育研究を進める糧にしたいと考えています。

また秋には、「国連ESDの10年」の最終年会合が名古屋・愛知で開催されます。このシンポジウムが、その成功に向けた重要な一環となるよう、学部一丸となって尽力したいと考える次第です。

日時: 2014年 2月8日(土) 13:30~17:30

会場: 名古屋市立大学 滝子キャンパス1号館 201教室 (裏面の地図参照)

パネリストと演題: クレメンス・マダー氏 ESD in the university-regional community interface (大学と地域社会をつなぐESD)

朴 泰潤 氏 The Education of Green Lifestyle for Korean Citizen (韓国市民のグリーン・ライフスタイル教育)

小金澤 孝昭 氏 ESDと人づくり・地域づくり

真鍋 和博 氏 北九州まなびとESDステーションにおける大学横断型実践的ESD教育の展開

阪井 芳貴 氏 大学と博物館とのESD的連携の試み

- ◎ マダー氏と朴氏の報告は英語、他の方の報告は日本語でなされます (通訳はありませんが、事前にすべての報告の日本語版と英語版を準備・配布します)。
- ◎ 質疑応答は通訳を介して行います。



クレメンス・マダー氏
(Clemens Mader)
1980年オーストリア生まれ。専門:ESD。ドイツ・リュネベルグ大学客員教授。グラーツESD地域拠点カリキュラム委員会メンバー。



朴 泰潤 氏 (パク・テユン)
1959年生まれ。専門:ESD、環境教育。韓国・延世大学教育学研究科教授。韓国環境教育学会副会長。



小金澤 孝昭 氏
1952年生まれ。専門:地理学。宮城教育大学教授、国際理解教育研究センター長。仙台広域圏ESD・RCE運営委員会委員長。



真鍋 和博 氏
1970年生まれ。専門:教育社会学、キャリア教育。北九州市立大学基盤教育センター教授、地域創生学群長、地域共生教育センター長。



阪井 芳貴 氏
1957年生まれ。専門:沖縄学、日本民俗学。名古屋市立大学人間文化研究科教授、人間文化研究所長。

主催・問合せ先: 名古屋市立大学 人文社会学部
〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町山の畑1
TEL: 052-872-5808 E-Mail: esd@hum.nagoya-cu.ac.jp

連携協力: ESDユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会



どなたでも
ご自由に参加ください
入場無料
事前申し込み不要
先着 200名

ESDと大学2

持続可能な地域社会のために

日時: 2014年 **2月8日** (土)
13:30~17:30

会場: 名古屋市立大学
滝子キャンパス1号館 201教室

名古屋市立大学
人文社会学部ESD



会場へのアクセス

● 名古屋駅から桜山駅までの経路図



地下鉄桜通線桜山駅下車10分

- 地下鉄
桜通線「桜山」駅下車
⑤⑥⑦番出口から徒歩12分
- 市バス
金山駅金山⑦のりばより
金山11・12・16「滝子」下車
金山駅金山⑧のりばより
金山14「滝子」下車
〒467-8501
名古屋市瑞穂区瑞穂町山の畑1
TEL 052-872-5808

● 桜山駅から滝子キャンパスまでの地図

